

「政府活動報告」の骨子

田中 修

はじめに

2月12日、習近平総書記は党中央政治局会議を招集し、「政府活動報告」等を議論した。本稿では、「政府活動報告」の骨子に関連する部分の内容を紹介する。

2014年、わが国の発展が直面している内外環境は複雑・峻厳であり、世界経済の回復は曲折し力に欠け、国内経済の下振れ圧力は引き続き増大し、多重の困難・試練が相互に交錯していた。

習近平同志を総書記とする党中央の堅強な指導の下、我々は大勢を科学的に把握し、安定の中で前進を求めることを堅持し、マクロ・コントロールの考え方・方式を引き続き刷新し、安定成長・改革促進・構造調整・民生優遇・リスク防止を統一的に企画した。経済社会発展の主要目標・任務を全面的に達成し、改革を全面的に深化させる良好なスタートを実現し、法に基づく治国を全面的に推進する新たな長い道程をスタートさせ、小康社会を全面的に実現する堅実な歩みを踏み出した。

この1年、わが国の経済社会の発展は総体として平穏であり、安定の中で前進があり、経済運営は合理的区間にある。経済構造には新たな変化があり、発展の質には新たな向上があり、対外開放には新たなブレイクスルーがあり、人民の生活には新たな改善があり、発展の協調性・持続可能性が増強された。これらの成績は容易に得られたものではなく、全党・全国・各民族・人民が団結奮闘し困難に向かって突き進んだ結果であり、我々が勇気を奮って前進する自信を確固たるものにした。

わが国の経済は新常态に入ったが、経済発展のファンダメンタルズには変化はなく¹、我々はいささかも動揺することなく経済建設を中心とすることを堅持しなければならない。発展という第一の重要任務に確実にしっかり取り組み、科学的発展をたゆまず推進することを堅持し、質と効率の高い持続可能な発展を実現しなければならない。

各レベルの党委員会・政府は、党中央の手配・要求に基づき、鄧小平理論・「3つの代表」重要思想・科学的発展観を導きとし、18回党大会・18期3中全会・4中全会精神を全面的に貫徹し、習近平総書記の一連の重要講話精神を貫徹・実施し、安定の中で前進を求めるという政策の総基調を堅持し、**経済発展の質・効率の向上を中心とすることを堅持しなければならない。経済発展の新常态に積極的に適応しこれをリードし、経済運営を合理的区間に維持し、発展方式の転換・構造調整を更に重要と位置づけ、改革の堅塁攻略にしっかり取り組まなければならない。イノベーションによる駆動を際立たせ、リスク防止・コン**

¹ ゴチックは筆者。

トロールを強化し、民生保障を強化し、経済の平穏で健全な発展と社会の調和・安定を促進しなければならない。

今年の経済社会発展の主要予期目標・任務を達成するカギは、安定と前進の相互促進にある。経済の中高速成長とミドル・ハイエンド水準への邁進に着眼し、政策・予期の安定、改革促進・構造調整を堅持し、大衆による起業・万人によるイノベーションを奨励し、公共財・公共サービスを増やし、経済発展の速度を調整しても勢いを減ずることなく、量の増大・質の一層の最適化を推進しなければならない。

マクロ経済政策を安定・整備し、積極的財政政策・穏健な金融政策を引き続き実施し、区間コントロールを堅持し、事前調整・微調整と方向を定めたコントロールを更に重視しなければならない。

改革を深化させ、開放を拡大し、行政の簡素化・権限の開放と投融資・価格・財政・税制・金融等の体制改革を深く推進し、開放型の経済新体制を構築しなければならない。

個人消費を拡大し、有効な投資を増やし、農業の現代化と新しいタイプの都市化を早急に推進し、地域発展の新空間を開拓し、産業構造の最適化・グレードアップを推進しなければならない。

民生改善を重点とする社会建設を強化し、教育、雇用、社会保障、医薬・衛生等の政策にしっかり取り組み、省エネ・汚染物質排出削減と環境対策の堅塁攻略戦をしっかり戦わなければならない。

政府自身の建設を強化し、憲法に基づく施政・法に基づく行政を堅持し、管理を刷新し、サービスを強化して、確実に人民のために政務に励まなければならない。

(2月19日記)